

『核医学安全基礎読本④ 放射免疫測定法』

正 誤 表

標記書籍（2020年1月15日 第一版 第1刷）に誤りがございましたので、以下に訂正しお詫び申し上げます。

頁・行	誤	正
21 ページ下から 3 行目	上記の（ア）と（イ）と異なり、	上記の①と②と異なり、
44 ページ表内	リアノグスト TBG	リアゲノスト TBG
50 ページ左 1 行目	シリアル Lex-i 抗原（SLX）	シアリル Lex-i 抗原（SLX）
50 ページ右 4 行目	¹²⁵ I- 抗シリアル Lex-i 抗原（SLX）抗体	¹²⁵ I- 抗シアリル Lex-i 抗原（SLX）抗体
50 ページ左 25 行目	シリアル Tn（抗原）（STN）	シアリル Tn（抗原）（STN）
50 ページ右 8 行目	血清シリアル Tn 抗原測定	血清シアリル Tn 抗原測定
50 ページ右 9 行目	シリアル Tn 抗原ビーズ	シアリル Tn 抗原ビーズ
73 ページ 8 行目	（光路長、1 cm）	（光路長、 <i>l</i> cm）
87 ページ下から 1 行目	表Ⅷ 7 - 3	表Ⅷ 7 - 6
103 ページ下から 2 行目	診療報酬の改訂があった場合	診療報酬の改定があった場合
148 ページ 18 行目	実行*線量が、	実効線量が、
170 ページ右下から 5 行目	シリアル Lex-i 抗原（SLX）	シアリル Lex-i 抗原（SLX）
170 ページ右下から 4 行目	シリアル Tn（抗原）（STN）	シアリル Tn（抗原）（STN）

*本書は原則として、国の法令等の文言については原文のままとしていましたが、今回上記のように記述を訂正いたします。

「シリアル」についての著者コメント：

哺乳動物の細胞表面に存在するシアリル化糖鎖の非還元末端に広く存在し、細胞間の相互作用や病原性の細菌、ウイルスの感染に重要な役割を果たしているシアル酸に係る表現で「シアリル」と表現すべきところを「シリアル」と表現してしまいました。ここに訂正しお詫びいたします。